

第34回立命館低炭素戦略研究会開催

オープンリサーチ

日中自動車リサイクル研究会

経済成長に伴い、中国の自動車産業は成長を続け、2015年には生産・販売ともに過去最高を更新し、7年連続で世界第一位である。モータリゼーションの進展により、使用済自動車台数が急速に増加しており、適正な処理システムやリサイクル制度等の構築が急務となっている。2015年に中国年間廃棄自動車の量は1000万台前後だったが、2020年には1200万~1600万台まで及ぶと予測されている。豊田通商担当者をお招きし、日中自動車リサイクル研究会を開催いたします。奮ってご出席くださいますようお願い申し上げます。

日時：2019年1月21日(月) 15:00-17:00

場所：立命館大学茨木キャンパス8階 AS851室

主催：立命館大学低炭素戦略研究会（通算第34回）

大学院 RP「グローバルガバナンスとエネルギー環境政策」

豊田通商株式会社金属資源第一部

共催：一般社団法人国際3E研究院

株式会社豊田通商側参加予定者：

- ① 金属本部金属資源第一部資源循環第一グループリーダー 森 博志氏
- ② 同グループ部長補 大瀬裕久氏
- ③ 中国・東アジア部部長兼ネクストモビリティ推進部部長職 河野篤恵氏

報告内容：

- ① 豊田通商の資源循環事業、対中国事業の紹介（豊田通商側）
- ② 日中韓循環経済モデル基地事業紹介（周研究室）
- ③ 日中自動車リサイクル事業現状と政策比較（周研究室）
- ④ その他

（事前申し込み不要）

お問合せ先：立命館大学政策科学部 周研究室 (zhou@sps.ritsumeij.ac.jp)